

なまろーど

The Name Read

ホームページアドレス
<https://ranshokai.jp/>

E-mailアドレス
info@ranshokai.jp

発行所 高岡教区寺族青年会
 住所 〒933-0878
 高岡市東上関466
 西本願寺高岡会館内
 発行人 初瀬部真亮
 編集者 広報部
 発行日 2023年4月30日

会長挨拶

鸞翔会

第二十四代会長 初瀬部 真亮



日頃より寺族青年会の活動に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また各行事にて法要出勤などの活動の場をいただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。

今年度は、コロナ禍により延期しておりました「第二十三回ダーナ・バザー」や、「寺族青年会四十五周年記念祝賀会」など、県内の感染状況を注視しながら、各行事の開催に向けて歩みを進めてまいりました。また、レクリエーションや懇親の場も増え、少しずつ以前の会活動の姿が取り戻されつつある一年であったように思います。さて、先般の「ナムナムサンガ」平和を願う集い」では、多くの方々のご来場をいただき無事に開催することができました。皆さまには応援とお力添えをいただきましたこと、深く感謝

申し上げます。

このナムナムサンガは、昨年二月に発生したロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け、「仏教徒としていま私たちに出来ることは何か」と会員同士が話し合いを続けてきたものが、一つの形となったものでした。教えをいただくものとして、善悪二元論に立つのではなく、戦争と平和ということについて、改めて多くの人々と考える機会にしたいという思いがありました。

若い人間の集まりであり、時に勢いが先行し粗削りな部分もありましたが、それぞれが熱い思いを胸に準備に奔走した日々は、今後の会活動において価値のある時間だったように思います。

当会には先輩方の歩まれた輝かしい活動の歴史があります。しかし、たとえ後ろに立派な道があったとしても、前を向けば、いつも目の前は草原だということに気づかれます。活動の在り方は様々であり、正解も不正解も誰も教えてはくれません。しかし、如来の本願をよりどころに、若い感性と活動力で自分たちの道を切り開いてきたのがこの会の伝統でもあります。

仏教の説く理想の世界と、それとは乖離した現実がある中で、自分が頑張ったところで何も変わらないのかもしれない、と悲観して生きるのではな

く、教えに生きる者として、きっと私たち宗教者としての役割や力がある。そんな誇りと情熱を持って今後も青年僧侶の時間を歩んでいきたいと思えます。

今年度を持ちまして現体制は解散となりますが、この二年間を振り返ってみますと、達成できたこともあれば、未だに積み残したままの課題もたくさんあるように思います。しかし、新型コロナウイルスの流行やウクライナ侵攻など、誰もが想像出来ない社会状況に出会っていく中で、話し合いを重ね、主体性を持つて自分達の活動を模索していかうとする会員たちの姿に、私自身ずいぶん勇気づけられたように思います。

これからも私達の生きる世界はめまぐるしく変化していきます。会活動を進めていく上で、大きな壁に突き当たることがあるでしょう。しかし、安易に妥協案を求めることなく、また短絡的思考に陥ることなく、何事にも挑戦する姿勢を失わないでほしいと思えます。

教区の皆さまには今後も寺族青年会への変わらぬご指導ご助言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ダーナ・バザー

令和4年9月11日

光覚寺 青雲 乗峻

9月11日に第23回ダーナ・バザーが開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、実に四年ぶりの開催となりました。久々の開催であるとともに、多くの課題もあり、不安もありましたが、バザー当日は盛況のうちに終了したように思います。収益金につきましては、私たち鸞翔会と交流のある、県内の各福祉作業所・JVC（日本国際ボランティアセンター）・ウクライナ侵攻による被害者への支援金として送らせていただきます。

この度、準備期間から当日に至るまで、多くの方々にお骨折りいただきました。実行委員並びに青年会会員をはじめ、OB・OGの方々や各作業所の方々のお陰をもちましての開催であつたことに感謝いたします。重ねて、物品を提供していただきました、各御寺院の方々にも深く御礼申し上げます。そしてまた、今回の実行委員長を務めさせていただきましたが、不手際もあり、多くの方々に迷惑をおかけしたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

最後になりますが、私たちの活動が、少しでも困っている方への援助となったなら幸いに思います。貴重なご縁をいただき有難うございました。



宝性寺パブリックビューイング

令和4年11月23日・12月5日

長光寺 織田 朋希

11月23日と12月5日に寺族青年会と仏教青年会の合同イベントとして高岡教会

く、会館にたどり着くだけでも一苦勞でしたが、数名の会員が集まり、約一時間遅れではありますが研修会が始まりました。飛鳥さんは、昨年の2月24日に始まったロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻を受け、仏教と平和というテーマでお話してくださいました。鸞翔会OBでもある飛鳥さんは、今でも宗教的社会的活動や非戦・平和運動に尽力されています。

研修会の中では、仏教とは今まで知らなかった自分に出会うことだと仰っておられました。飛鳥さんが大好きだった祖父が亡くなられた時、あんなに好きだった昔の祖父に触れることができなかつた。自分自身の中に死へのマイナスのイメージがあることへの気づき。そのことが僧侶としての歩みのスタートかもしれないと語っておられたことが印象に残っています。

また、どんな悪い状況の中でも人間は生きていかなければならない。混沌こそが人間の本質と言われました。当時はコロナ渦ということもあり、情勢が決まっている時ではありませんでした。そんな混沌とした世の中でも前を向いて生きていかなければならないのが私たち人間です。その道しるべ、平和の象徴となるのが仏教なのではないかと考えました。

今回の研修を経て、自分たちから出来ることは何かを考えさせられる機会になりました。仏教徒だからこそ出来ることを会員たちで話し合いを重ね、その結果が後のナムナムサンガに繋がっていったのだと私は思います。

寺青45周年記念祝賀会

令和5年3月21日

圓徳寺 池内 将貴

3月21日にホテルニューオータニ高岡にて寺族青年会45周年記念祝賀会を開催しました。実際は2020年に45周年を迎えていますが、コロナ禍のため延期を余儀なくされ、三年遅れでの開催となりました。

当初、出席者はさほど多くないのではないかと懸念していましたが、蓋を開けてみると、会員をはじめ、OB・OG、来賓、合わせて56名の方々に出席し

糸岡組宝性寺にてワールドカップのパブリックビューイングを開催しました。当日はプロジェクトの大画面・スピーカーを使っての大音量パブリックビューイングだったため大変盛り上がりました。サッカーが全くわからない私や参加者にも、鸞翔会（寺族青年会）のサッカーサークルのメンバーの皆さんがリアルタイムで解説をしてくださり、とても面白く応援・鑑賞することができました。

フットサルサークルメンバーでもある鸞翔会会長がドイツ対日本戦終了後「サッカー大国ヨーロッパのドイツに日本が勝つということはサッカー界でも驚くほど凄く、素晴らしいことです。彼らは日本のサッカー歴史に残るような偉業を成し遂げ続けて、多くの人に感動を届けています。」と言っておりました。私はサッカー界のことはよくわからないのですがワールドカップ日本代表チームが、応援している全ての人・サッカーを好きな人・知らなかった人にも、多くの感動と熱を伝えてくれたことは感じる事ができました。

仏教とスポーツはあまり繋がりが無いように感じられる方が多いと思いますが、よくスポーツ等で使われる「勝利」という熟語は仏教の言葉で表すと「勝（すぐ）れた利益」という意味です。現代社会では勝負事において勝つことが「勝利」とされていますが、仏教の勝れた利益というのは比べることもない世界で心から満足できることを表すと思っております。

今回のパブリックビューイングではそういった比べることのない感動や熱で心が満たされました。選手たちが、一丸となって応援している皆さんの姿が、勝利を届けてくれました。今回参加された皆さん、会場を準備してくれた皆さんとのご縁に感謝申し上げます。有難うございました。

寺青連研

令和4年12月23日

宝教寺 海老坂秋彦

12月23日に善興寺住職の飛鳥寛静さんをご講師にお迎えし、高岡教務所にて実践運動研修会が行われました。この日は大雪による積雪で、道路の状況も悪

て頂きました。当日は予定していた式次第通りに進行がなされつつも、多くの先輩方のお話を伺うことができ、大変有意義で楽しい時間となりました。

私には、記念祝賀会を通して感じたことがあります。45年の歴史の中で、その時代の先輩方が社会の状況を鑑みながら、「今、私たちはこういうことをしたい」という思いのもと活動を行ってきたということですね。私たち現会員は、先輩方が育ててきた寺族青年会を大切にしつつ、さらに、先輩方に負けないように様々なことにチャレンジしなければならぬ、そのように思わせてくれる祝賀会でした。

さて、二年後には50周年の節目の年を迎えます。その際には、より規模の大きな形で催しを行うことになると思いますが、諸先輩方と再び語り合える日を楽しみにしたいと思います。



ナムナムサンガ

令和5年4月8日

西養寺 村上 昂文

この度、鸞翔会は4月8日に伏木の勝興寺において「ナムナムサンガ」平和を願う集い」を開催させていただきました。

昨年の2月にロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻という衝撃的なニュースが世界中で報道されました。連日報道されていた現地の様子でありましたが、1年を過ぎ、報道の数は減少傾向にございます。実際には今も、一向に状況が改善されることはなく、現地で涙を流す方は日に日に増え続けております。このことに端を発し、鸞翔会ではこの軍事侵攻に対して声明を出しました。さらにロシア・ウクライナ問題から世界へ目を向けてみますと、戦争・貧困・災害など、命が危ぶまれる状況の中、大変な生活を強いられている方が沢山いらっしゃることに改めて気づかされます。

お釈迦様は「一切の生きとし生けるものは幸福であれ」と願われました。この一切に込められた願いとは一体なんなのか。お釈迦様は目に映る全てだけを指して一切とおっしゃられたのではありません。目に映らないものも含めた全人類を指して一切と願われました。

平和とは何か。私たち仏教徒に何かできる事はないのか。遠い国のことと見て見ぬ振りをつけていいのか。次第にその思いは大きくなっていきました。模索する中で生まれた企画がこの「ナムナムサンガ」でございます。

当日の企画としてeスポーツ大会、坊主カフェ&バー、平和を願う法要として宗祖讃仰作法音楽法要、子供広場の充実、ミニ法話、趣旨に賛同していただいた企業による出店、そしてメインには加藤登紀子さんとナターシャ・グジーンさんのプレミアムチャリティーライブがありました。

現在会員は30名と決して多くない人数ではありますが、4月8日のナムナムサンガに向け、会員一人一人が一生懸命に寝る間も惜しまず準備を続けてくれました。一人でも多くの方にご来場いただき、共に平和について考える、そんな機会となってくれることを願っております。

当日はあまり天候には恵まれませんでした。それでも多くの来場者があり、ともに平和について考える時間を共有できたことと思います。これも現会員だけでなく、多方面にわたり携わってくださった方々のご尽力あつてのことと心より感謝しております。

鸞翔会は発会から沢山の対外活動をしてきました。カンボジア難民問題から始まり、その代その代で様々に活動してこられたことと思います。そのことが今、私たちがこうして活動していく上での励みとなっていることを一同、肌で感じる事ができたことと思います。

最後に、初めてのことで戸惑うことも多かつた数か月間でありましたが、準備段階から開催当日、後片付けまで、皆様から多大なるご助力やお力添えを賜り、誠にありがとうございました。今は燃え尽き症候群という病に侵され、体が思うように動いてくれませんが、今後、皆様から頂いたお言葉を一人一人が心のうちに落とし込み、新たな一歩を踏み出す力にかけて、今企画を通して得たものを次へと繋ぐよう精進して参りたいと思います。皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



手話サークル

代表 射水 梓

手話サークルではコロナ以前、ご講師を迎え月に一回程度手話の勉強や手話コーラスの練習を行っていました。しかし今年度今も新型コロナウイルス感染症流行の様子を見る中、集まる機会を持つことができませんでした。

また、現状練習に参加することができず、現役の寺族青年会会員がおらず、ほとんどがOBの方になっていきます。代表の射水も今年度で退会となり、今後の活動の予定を立てることも難しくなりました。

もし今後手話サークルとして活動してみたいと思われる方がいらっしゃいましたら、お手伝いいたしますので、ご興味を持たれた方は伏木組光西寺射水までご連絡ください。よろしくお願いたします。

フットサルサークル

代表 麻生 裕善

2020年2月の練習を最後に活動を自粛しておりましたが、昨年の12月に2年10ヶ月ぶりによく活動を再開しました。

浄青僧加盟団体による持ち回りで、年一回開催される浄青僧カップ全国大会は残念ながら3年連続延期となりました。

このサークルの参加者は未経験の方も多く、フットサルを通して寺青現会員のみなさん世代間や組を超えた幅広い交流に大きな魅力があります。

私自身寺青退会まであと1年となりました。もともと鸞翔会に入ることになったのはこのフットサルサークルに参加したことがきっかけでした。それからたくさん先輩や後輩に出会い、一緒に汗を流していく中で多くの仲間ができました。気付いた時にはすでに寺青会員。そして今にいたります。小さなことでも悩み苦しみ、喜びを分かち合える仲間との出会いは、私自身にとって大きな財産です。

12月によく再開できたにも関わらず、4月に「ナムナムサンガ」という大きな行事を抱えていたこともあり、しばらくの間ご無沙汰をしております。こと申し訳なく思っております。これからまた気を引き締めて、皆さんの健康増進やチームの強化、加えて懇親会の企画に努めて参る所存です。また

新入会員の紹介



長光寺 渡部 裕介さん
五位組長光寺の渡部裕介と申します。出身は鳥取市で、元々寺族ではなく、一般の家庭で育ちました。妻(長光寺の次女 織田真希さん)との結婚を機に2022年6月に得度をし、2022年10月から東京から高岡に引っ越してきました。eスポーツやweb3関連の事業をやっています。仏教について更に学び、あらゆる方法で一般の方にも仏教の素晴らしさを伝えていきたいと思っておりますので、是非ご教授いただけますと幸いです。皆様どうぞよろしくお願い致します。



妙寿寺 桃井 善樹さん
砺波組の桃井善樹と申します。寺族青年会での活動を通して、様々な経験や多くのご縁をいただきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。



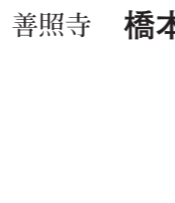
智徳寺 吉井 瑠璃子さん
智徳寺・慶成の連れ合いです。名古屋市出身で芸大卒ですが、ご縁があり、布教使にさせてもらい、お座に出させてもらっています。趣味は子どもの服作りと、畑仕事。寺青でお会いしましたら、どうぞご教示ください。



知徳寺 吉井 慶成さん
新湊組の智徳寺の吉井慶成です。一年前に自坊へ帰ってきました。なかなか行事に参加できませんが、よろしくお願いたします。



徳生寺 河内 智行さん
水見東組の河内智行と申します。寺青の皆様との関わりや活動等のご縁を通して、沢山の事を勉強させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



善照寺 橋本 雅弥さん

フットサル以外のことも皆さんの知恵をお借りしながら色々企画していければと思います。

雅楽サークル

代表 麻生 裕善

このサークルは2015年に鸞翔会公認雅楽サークルとして結成され、毎月一回の練習会を開催しています。昨今のパニックの厳しい状況下において、しばらく休止することもありましたが、昨年より少しずつ練習を再開し、今では以前のように活動することができています。

毎月一回の練習のほか雅楽サークルの活動の一つとして、去る4月8日鸞翔会主催の「ナムナムサンガ」平和を願う集い」において、オーブニング演奏に続き「宗祖讃仰作法 音楽法要」に出動しました。以前開催されていた「ふるこはんフェス」に続いて、勝興寺の本堂では四回目の演奏となりましたが、参加するたびに思うことは、多くの人の前での実践は難しいものであるということ。です。が打ち物や、各管の楽器の音色がピタリと合わさったときには、何ものにも代え難い感覚を味わうことができます。当日は10名が参加し、そのうち6名は寺青の先輩方でした。先輩方には雅楽演奏の

みならず、様々なお願いをし多大な協力の中ではじめてこの「ナムナムサンガ」平和を願う集い」を開催することができました。諸先輩方の支えあつてこそ雅楽サークル、また寺族青年会であるこということを改めて実感したことでした。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

蓮花の会

代表 水上 法恵

他にもサークル会員独自で企画し、色々な活動をしています。私自身未経験で始めました。日本最古の楽器に触れてみませんか。体験だけでも構いませんのでご興味のある方はお気軽にお声掛けください。

蓮花の会としての活動がなかなか出来ない中、ナムナムサンガの坊主バーに協力させて頂きました。3年ぶりに大勢が集まることの大切さを思い出させてくれました。風の強い日でも、テントが飛ばされるハブニングなどに見舞われながらも、楽しく交流出来て良かったです。

退会の言葉



光乗寺 瀬谷 祐史さん

寺青の活動には、ほとんど協力で
できなかったのに最後までこんな僕に
声をかけてくれてありがとうございます。
ました。



常称寺 小見山恵佑さん

突然住職に任命され、はじめは寺青の活動も頑
張ろうと思っていたのですが、さまざまなことが
あり後半はほとんど参加ができませんでした、申
し訳ありませんでした。

バザーで荷物のお預りを担当させていただいた
のですが、元気があっていいわねえとお客さんか
らお声かけ頂いたのがとてもうれしかったです。

お世話になりました。ありがとうございます



光西寺 射水 梓さん

長らくお世話になり有難うござい
ました。

また何かお手伝いすることがあれ
ばお声がけください。

専称寺 楠 北斗さん

新入会員募集・ホームページ・公式SNS

寺族青年会（鸞翔会）では新入会員を大募集しています！気軽に参加してみませんか？



ホームページ(NEW)
<https://ranshokai.jp/>



Facebook
<https://www.facebook.com/ranshokai/>



Instagram
https://www.instagram.com/ranshokai_takaoka/



Twitter
https://twitter.com/ren_namnam/

法輪せんべいのご案内



平素より法輪せんべいをご最買いただきありがとうございます。法輪せんべいは、射水市の萬松堂本舗さんで、一枚一枚丁寧に手焼きされ、袋詰めされています。味は上品な甘さで、硬さもちょうど良く、お茶はもちろん、コーヒーや紅茶にもよく合います。お好みでモナカのようにアイスクリームやあんこ、生クリーム等を挟んでもおいしくいただけるかと思えます。食べたことのない方は是非一度ご賞味いただければと思います。一袋二枚入りとなっており、法要時のお供え、来寺の御門徒さんへのお茶菓子、お茶請けにも最適です。

収益金は、寺族青年会の活動や自然災害被災地支援、または支援活動等に充てられます。

特大 (170袋入)	10,000円
バラ (1組10袋入)	600円

※1組は、桜色5袋・若草色5袋単位での販売です

お申し込み、お問い合わせは

代表番号 050-5587-7708

アドレスはhourin18@gmail.com

編
集
後
記

なまろーど48号の発行に
あたり、会員の皆様にはご協
力いただきありがとうございます
ました。この会報の発行をも
ちまして、今体制における広
報部としての活動は一区切り
となります。

次期体制の2年間において
は鸞翔会発会50周年という大
きな行事が控えております。
より活発な広報活動を通して
多くの仲間との繋がりを深め、
これまでの鸞翔会の歩みを再
確認し、これからの活動に繋
げていきたいと思えます。今
後ともご協力よろしくお願
い致します。